

NPO法人 海外に子ども用車椅子を送る会

読売プルデンシャル福祉文化賞「奨励賞」受賞

だれもが笑顔で暮らせる社会をめざし、福祉活動に励む個人や団体を奨励する読売プルデンシャル福祉文化賞の、第4回の受賞者が決定、当会の活動内容が評価され「奨励賞」を受賞しました。

この賞は、読売光と愛の事業団と読売新聞社が主催、厚生労働省、日本福祉文化学会、プルデンシャル生命株式会社の後援で2003年に創設された賞で、社会福祉の各分野で21世紀を切り開く創造的な業績をあげ、障害者の暮らしやすい環境作り、自立支援、社会参加の推進などに貢献している個人、団体を奨励し、豊かな福祉社会作りの一助とする。特に新しい活動を始めた人たちを応援していくことを目的としています。

第4回受賞者（発表2006年12月18日）

「大賞」

ハート・プラスの会（名古屋）・内部障害者の啓発活動
矢野末友木・百花（大阪）・・・車いすおもちゃ製作
森浩昭（広島）・・・障害者作業所の販路開拓

「奨励賞」

海外に子ども用車椅子を送る会

佐藤さきよ（札幌）・・・人口呼吸器使用者の支援活動
田野智子（岡山）・・・障害者の芸術活動を支援
不登校情報センター（葛飾区）・・・不登校者やひきこもりの若者を支援する情報提供

要約筆記高知・やまもも（高知市）・・・難聴者のための要約筆記活動

寄贈した車椅子の子ども達への贈呈

マレーシア 2006年8月10日（寄贈105台）

東方政策元日本留学生同窓会に寄贈した105台の子ども用車椅子の子ども達への贈呈式がマハティール前首相、今井駐マレーシア大使など150人の来賓を招いて同窓会主催で行われ、4ヵ所の施設の子供達に贈呈されました。



東方政策元日本留学生同窓会会長御礼状

このたびは私ども東方政策元日本留学生同窓会に105台の車椅子をご提供いただき、貴会のご尽力に対して心よりお礼申し上げます。

車椅子の贈呈式は8月10日クアラルンプール市内のKLタワーで行なわれました。

当日の主賓は、マハティール前首相、今井駐マレーシア日本大使、ズキフリKLタワー社長、片野智之貴会顧問その他に身障者の保護者など約150人が出席しました。

また、テレビ、新聞各社など多くのメディアが取材しました。今回はスパスティック養護センター、CBネット（地方リハビリセンター援助NPO団体）、身障者介護施設、さらに病院などに寄贈いたしました。

このような社会貢献事業は私どもばかりでなく、マレーシアに於ける身体の不自由な子ども達にとって大変有意義でありますので、今後少なくともあと3年はこの事業を続けていきたいと思っておりますので、ご協力いただきたく存じます。

改めて感謝を申し上げますとともに、会員の皆さまにもよろしくお伝えください。

ザバ ハジ ヨウン 東方政策元日本留学生同窓会 会長

ベトナム 2006年11月29日（寄贈102台）

子ども達への車椅子の贈呈式がホーチンミン共産党青年同盟の傘下の国際青年協力推進センター所属のJICA青年招聘事業研修生同窓会の主催により、研修生同窓会の社会貢献の一環として行われました。



式には国際青年協力推進センター総裁、ハイフォン市副市長の他、各養護施設団体の代表や、保護者100人が列席、式の前に青年同盟に所属している子ども達が歌や踊りを披露し、そのあと事務局のフオンさんから当会からの申し出を受けてこのプロジェクトが始まった経過報告、および来賓の挨拶があり、ベトナム北部の4ヵ所の施設に贈呈されましたが、その模様はテレビ、新聞で全国に報道されました。ベトナムはベトナム戦争の傷跡で今尚サリドマイド障害児が多く生まれていますが、全国に500ヵ所以上ある養護施設は車椅子すら全くの不足状態で運営されています。

今回の寄贈に関わったベトナムの多くの人達から子ども用車椅子の継続的な寄贈を懇請されました。当会は切実な事情を鑑み今後重点寄贈先として対応していきます。



■ご寄付をいただいた皆様（順不同、敬称略）					ご協力いただきありがとうございました（2006年8月1日～12月25日分）				
松戸磨須美	木村侃丘	竹村節子	金智運	三宝会	小山光彦	藤本昇史	伊東真二	高橋由紀子	
真鍋恭子	岸井泰子	菊地佳子	今村松美	小林雅子	近藤真紀	小笠原悦子	田中恵子	川口美代子	
藤巻賢一郎	山下重寿	浅井和子	吉田政昭	原聡子	望月直美	田辺修	志茂新子	山田勲	
本橋礼子	西川昌宏	石川献之助	中野献一	中野閑子	長内玲子	多良芳幸	オートリード株式会社		
田中慶子	福生市倫理法人会		立川ダンボール工業株式会社			ステラウェディングドレス			
福生ブルースフェスティバル実行委員会			エキスパートアライアンス株式会社						

■活動へのご協力、ご支援をいただいた企業、団体（順不同、敬称略）
株式会社交運社 多摩包装工業株式会社 西多摩運送株式会社
日本ボーイスカウト東京連盟大多摩地区あきる野第1団
Malaysia International Shipping Corporation
日本財団

石川酒造株式会社
NPO法人青少年自立援助センター
松下電器産業株式会社

当会支援チャリティコンサート

当会を支援するチャリティーコンサートが開催され、収益金をご寄付いただきました。
車椅子の修理費、海外への輸送費などの活動費として使わせていただきます。

第1回福生ブルースフェスティバル 2006年11月5日



当コンサートは石川酒造（福生市）18代目の石川太郎氏、福生市在住のプロドラマー相馬博明氏らが発起人となり、20人のミュージシャンの賛同を得て、福生駅前スーパーの駐車場の会場に約300人の聴衆を集めて開催されました。

収益と当日会場で集めた寄付を当会とユニセフに折半ご寄付いただきました。

クリスマス チャリティ コンサート at 「蔵館」 2006年12月22日



東京都立川市の文化庁登録有形文化財「蔵館（くらかん）」を所有する中野猷一氏が長内玲子氏（フルート）、福原千春氏（ピアノ）の2人の音楽家を招き、当会を支援するためのクラシックコンサートが蔵館において開催されました。

文化財の蔵のなかのお座敷での開催で、別のお座敷でのお茶、お菓子の接待付きというユニークで楽しいコンサートでした。

子ども達に車椅子贈呈その後

車椅子を受けとって喜ぶ子ども達の写真が届きました。

マレーシア 2006年8月子ども達に贈呈（寄贈105台）



韓国牙山市（アサン市） 2005年12月子ども達に贈呈（寄贈65台）



お願い

子ども用の車椅子は15～30万円もする高価な医療器具ですが、子どもの成長により2～3年で買換えられています。私たちは、その不要になった子ども用の車椅子を集めて、それを洗浄、修理、整備して、海外の車椅子が買えず動く自由を知らない子どもたちに無償で提供する活動をしているNPO法人のボランティアグループです。

いただいた車椅子を海外の障害のある子どもたちに送るには、輸送費が1台につき5000円かかりますので、私たちは自分たちで輸送費を確保して送っております。1人でも多くの障害のある子どもたちに動く自由の喜びを与えるために、皆さまの経済的ご支援をお願いいたします。

振込先 郵便振替 口座記号番号 00130-9-389966
加入者名 海外に子ども用車椅子を送る会
銀行振込 口座番号 ありそな銀行福生支店
普通 4145946
口座名 海外に子ども用車椅子を送る会

発行責任者

会長 森田 祐和
〒197-0012 東京都福生市加美平3-7-13
TEL 090(7239)7264
E-mail info@kotobukiya.com

事務局 志茂 和泰
〒196-0022 東京都昭島市中神町3-6-2
TEL 090-9369-4878 042(541)2242
E-mail shimo-yu@whi.m-net.ne.jp

ホームページ <http://www.kurumaisu.ma.cx/>